

令和3年度水道事業評価（中間）の結果の概要

1 事業評価（中間）の目的

事業評価は、水道事業の基本計画である「アクアプラン川口 21～第3次川口市水道ビジョン～」に基づき、安全・安心な水道水の継続的な提供を目的として、各事業を確実に推進するため、年度ごとの進捗状況を定量的に評価し、結果をお客様に公表するものです。

中間評価では、事前評価で定めた各事業における年次目標について、途中経過を確認するとともに、場合によっては実施プロセスの見直しを行います。これにより、計画（Plan）・実行（Do）・評価（Check）・改善（Action）の一連の流れ（PDCA サイクル）による計画の進捗管理を行います。

2 評価基準について

A評価事業	…	1事業
B評価事業	…	34事業
C評価事業	…	0事業
D評価事業	…	0事業
E評価事業	…	0事業

A=予定以上の進捗
B=予定どおりの進捗
C=予定より遅れている
D=未着手
E=検討中(評価不能)

3 A評価（予定以上の進捗）事業について

A評価事業は全35事業中1事業です。

【4-1-1 お客様センターの利便性の向上（料金課）】

(事業内容)

上下水道局お客様センターの利便性の向上を図るため、継続的に機能の検証を行います。また、窓口でのご意見やご要望など、お客様の声を業務に反映し、サービスの改善に努めます。

(評価根拠)

インターネットを利用した使用開始・中止等の届出件数は、令和3年4月から9月までで3,426件であり、昨年同期(834件)の4.11倍となりました。

また、外国人に対する窓口対応については、地域特性に応じたサービスの調査、情報収集に努め、今年度からNTTと連携した通訳サービスの導入を予定しています。

4 B評価（予定どおりの進捗）事業について

B評価事業は全 35 事業中 34 事業です。主な事業は次のとおりです。

【2-1-1 浄配水場施設の更新(浄水課)】

(事業内容)

施設更新基本計画に基づき、浄配水場施設の計画的な更新工事を実施します。また、更新にあたっては、将来の水需要に応じた施設規模の適正化を図ります。

(評価根拠)

今年度計画している 6 浄配水場に係る工事及び調査・設計委託等について、予定通りの進捗となっています。

【2-1-2 老朽化管路の計画的更新(上水道建設課)】

(事業内容)

強靱性の低い高級鋳鉄管等や法定耐用年数を超えるダクタイル鋳鉄管等の老朽管を、施設更新基本計画及び老朽度診断結果等に基づき耐震管へ更新します。

(評価根拠)

高級鋳鉄管の予定路線 0.66km に対し、約 0.74km を耐震管により更新しています。また、経年管の予定路線 11.93 km に対し、約 12.10 km を耐震管により更新しています。

【2-2-1 配水管のネットワーク化の推進(上水道建設課)】

(事業内容)

適正な水圧・水量を把握し、最小の経費で安定的な給水を可能とするため、市内全域を網羅する配水管網を、拠点浄配水場を軸とした 5 つのエリアにブロック化します。また、ネットワークの構築により、非常時には断水範囲を最小限に食い止めるとともに、被害区域の集中的な補修により、早期復旧が可能となります。

(評価根拠)

配水ブロック化事業実施計画に基づき、石神ブロックのブロック化に必要な仕切弁、排水設備の設置やそれに伴う配水管を 1.99 km 整備しています。

また、石神・新郷ブロック間のバルブ閉止に伴い、濁水のリスクがある箇所について事前に洗管作業を行っています。

【2-4-1 漏水調査・漏水対策（上水道維持課）】

（事業内容）

漏水の早期発見・早期修理により、漏水率の低減を目指します。

（評価根拠）

漏水修理完了までの時間を集計・検証し、修理時間の短縮に努めています。また、緊急漏水調査委託では、令和3年9月末時点で340件の漏水を発見するとともに、漏水多発地区（芝・青木・戸塚・鳩ヶ谷）に調査委託を発注し、作業を進めています。

【3-1-1 水道施設の耐震化（上水道建設課）】

（事業内容）

災害発生時においても市民の救護活動等に支障をきたすことのないよう、浄配水場から重要給水施設（災害拠点病院および救急告示医療機関）への配水ルートを優先的に耐震化します。

（評価根拠）

救急告示医療機関への配水ルートについて、単年度目標の0.83 kmに対し、0.84 kmを耐震管により更新しています。

【4-1-2 サービスの多様化（料金課）】

（事業内容）

お客様の利便性を高めるため、多様化するお客様ニーズを把握し、サービスの充実に努めます。

（評価根拠）

令和2年9月1日から導入したクレジットカード決済、スマートフォン決済については、順調に件数が伸びています。また、新たな支払いチャネルとして、スマートフォン決済の取扱いブランドのうち、令和3年4月1日からPay Payを、6月1日からau Payを導入しました。

【4-1-4 水道事業PRとお客様の声の反映（上下水道総務課）】

（事業内容）

水道事業への理解を促進するため、ホームページや広報誌により積極的な情報発信に努めるとともに、水道サービスの向上を図るため、市民意識調査やイベント出展などを通して市民ニーズの把握に努めます。

（評価根拠）

小学4年生及び5年生を対象に水道ポスターコンクールを実施し、8月にイオンモール川口、9月にアートギャラリー・アトリアにて展示会を開催しました。

また、上下水道局ホームページの再構築については、受託業者が決定し、デザインやコンテンツに関する打ち合わせを進めています。

【5-1-1 地域社会との連携強化（上下水道総務課）】

（事業内容）

水道事業への正しい理解を促進するため、浄水場や水道庁舎を活用し、「水道」について学習する環境を整えます。

（評価根拠）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、施設見学は中止としましたが、令和 2 年度にリニューアル作成した上下水道事業学習用パンフレットを市内の小学 4 年生に配布したほか、同じく令和 2 年度に新規作成した上下水道局映像ソフト「みず太郎のウォーターアドベンチャー」についても、各学校へのチラシ配布、マスコミへの投げ込みなどにより周知・広報を行いました。

令和3年度水道事業評価（中間）結果一覧表

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	中間評価 (事業進捗度)	
安全	1 安全安心な水道水の確保	1-1 水源の保全と確保	1-1-1 県水受水の安定化	浄水課	B	
			1-1-2 自己水源の確保	浄水課	B	
		1-2 安全な水質の維持	1-2-1 水質監視体制の強化	浄水課	B	
		1-3 安全な水道水の提供	1-3-1 貯水槽水道適正管理の促進	上水道維持課	B	
			1-3-2 水道管洗浄の促進	上水道維持課	B	
			1-3-3 直結給水の普及促進	上水道維持課	B	
強靱	2 安定・快適な水道水の供給	2-1 水道施設の更新	2-1-1 浄配水場施設の更新	浄水課	B	
			2-1-2 老朽化管路の計画的更新	上水道建設課	B	
		2-2 配水管網の強化	2-2-1 配水管のネットワーク化の推進	上水道建設課	B	
			2-2-2 効率的な管路の拡張・充実	上水道建設課	B	
		2-3 維持管理の充実	2-3-1 浄配水場の適切な維持管理	浄水課	B	
			2-3-2 管網の適切な維持管理	上水道維持課	B	
		2-4 漏水対策の強化	2-4-1 漏水調査・漏水対応	上水道維持課	B	
			2-4-2 老朽給水管布設替の推進	上水道維持課	B	
			2-4-3 私道内給水管布設替整備補助の促進	上水道維持課	B	
		3 災害対策の推進	3-1 震災対策の強化	3-1-1 水道施設の耐震化	上水道建設課	B
				3-1-2 応急給水・復旧体制の整備	上下水道総務課	B
				3-1-3 災害用資機材の整備	上下水道総務課	B
	3-2 危機管理体制の確立		3-2-1 テロ対策の強化	上下水道総務課	B	
			3-2-2 湯水対策の強化	上下水道総務課	B	
			3-2-3 水道事故対策の強化	上下水道総務課	B	
	3-2-4 災害対応の強化	上下水道総務課	B			
	持続	4 サービスの向上	4-1 お客様サービスの向上	4-1-1 お客様センターの利便性の向上	料金課	A
				4-1-2 サービスの多様化	料金課	B
4-1-3 情報資産の管理と情報提供の推進				上下水道総務課	B	
4-1-4 水道事業PRとお客様の声の反映				上下水道総務課	B	
5 社会・環境との調和		5-1 地域社会との協働	5-1-1 地域社会との連携強化	上下水道総務課	B	
		5-2 資源の有効利用と環境負荷の軽減	5-2-1 資源・エネルギーの有効活用	財務課	B	
6 経営基盤の強化		6-1 財政基盤の強化	6-1-1 水道料金の継続的検討	上下水道総務課	B	
			6-1-2 収納率の向上	料金課	B	
			6-1-3 資産・資金管理の効率化	上下水道総務課	B	
		6-2 組織能力の向上	6-2-1 適正な組織・職員配置	上下水道総務課	B	
			6-2-2 人材の育成	上下水道総務課	B	
		6-3 経営基盤の強化	6-3-1 中期経営計画の運用	上下水道総務課	B	
6-3-2 広域連携の強化	上下水道総務課		B			

A評価-1事業、B評価-34事業、C評価-0事業、D評価-0事業、E評価-0事業（合計35事業）

令和3年度水道事業評価（中間）一覧表

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	上半期 執行額 (千円)	上半期 執行率	事業 進捗度	進捗状況
安全	1 安全 ・ 安心な 水道水 の確保	1-1 水源の保 全と確保	1-1-1 県水受水の 安定化	浄水課	お客様がいつでも安心して水道を利用できるように、水道事業者や水道施設の設置者と連携を図りながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。	・埼玉県から購入する原水(県水)の安定的な受水を図るため、埼玉県との連携を強化します。	・安定した県水受水量を確保するため、過去の実績に基づき次年度の県水受水量を確保します。 ・事業1-1-2「自己水源の確保」と併せ、安定給水量を確保します。 ・埼玉県の年次点検による県水停止においても安定した給水ができるように、埼玉県との連携強化を図ります。	①3,873,674 ②3,873,674	1,936,837	50%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・給水人口と一人一日平均給水量の実績から令和4年度～令和6年度の県水受水量を予測し、その値を県へ報告しました。 ・天候の変化などによる日々の水需要の変化に対しては、自己水源を活用し、安定した給水量を確保しました。 ・埼玉県担当者と情報の共有を図り、連絡体制を維持し安心安全な水道水の確保を継続しています。
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	1-1-1 県水受水の安定化 1-1-1 県水受水の安定化							
		1-1-2 自己水源の 確保	浄水課	お客様がいつでも安心して水道を利用できるように、水道事業者や水道施設の設置者と連携を図りながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。	・地下水の安定した揚水量を確保するため、取水井の適切な維持管理を行います。 ・自己水源の安定的な確保を図るため、老朽化した取水井の改良・掘替工事を計画的に実施します。	・日常的に井戸の静動水位の監視や揚水量の測定を実施し、井戸の健全性を確保します。 ・神根浄水場10号井ケーシング補修工事を行い、自己水源の安定的な確保を図ります。 ・鳩ヶ谷浄水場7号井掘替工事他工事を行い、自己水源の安定的な確保を図ります。 ・狭小地の掘替工事の手法についてより効果的な手法を調査します。 ・渇水時においても環境法令等を遵守した取水に努めた上で必要な水源を確保します。 ・神根浄水場3号井ポンプ更新工事を行い、自己水源の安定的な確保を図ります。	①112,065 ②112,065	84,381	75%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・計画通り井戸の水位監視を継続しました。 ・現場調査等を行い、発注に向け設計書・図面等を作成中です。 ・契約を締結し、作業に向けて打合せ・協議中です。 ・現場調査等を行い関係各課と打合せ中です。 ・環境法令を遵守し必要な自己水源を確保しています。 ・現場調査等を行い、発注に向け設計書・図面等を作成中です。	
水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	1-1-2 自己水源の確保 1-1-2 自己水源の確保										
安全な水 質の維持	1-2 安全な水 質の維持	1-2-1 水質監視体 制の強化	1-2-1 水質監視体 制の強化	浄水課	お客様がいつでも安心して水道を利用できるように、水道事業者や水道施設の設置者と連携を図りながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。	・川口市水質検査計画に基づき水質監視体制の強化を図ります。 ・安全な水道水を供給するため、自動水質監視装置による24時間常時監視を行います。	・水質検査計画を作成し、上下水道局ホームページで公表します。 ・水質検査計画に基づいて水質検査を実施し、検査結果を上下水道局ホームページで公表します。 ・上青木A・B水質モニター装置更新工事を完成させます。 ・水質を24時間監視するため、点検委託を年1回実施し、自動水質監視装置を維持管理します。	①43,745 ②43,745	30,853	71%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・水質検査計画を作成し、上下水道局ホームページで公表しました。 ・水質検査計画に基づいて水質検査を実施し、検査結果を随時上下水道局ホームページで公表しました。 ・上青木水質モニター装置更新工事は契約を締結し、作業に向けて打合せ・協議中です。 ・自動水質測定装置点検整備委託は契約締結に向け進行中です。 ・県水の水質などの速報を課内で共有し、必要に応じて他課に情報を伝え、情報共有を行いました。
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	1-2-1 水質監視体制の強化 1-2-1 水質監視体制の強化							

令和3年度水道事業評価（中間）一覧表

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	上半期 執行額 (千円)	上半期 執行率	事業 進捗度	進捗状況	
安全	1 安全 ・ 安心な 水道水 の確保	1-3 安全な水 道水の提 供	1-3-1 貯水槽水道 適正管理の 促進	上水道維持課	お客様がいつでも安心して水道を利用できるように、水道事業者や水道施設の設置者と連携を図りながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。	貯水槽水道に関する安全管理について継続的に広報していくとともに、貯水槽水道設置者に対し、水質の安全管理に関する通知などにより、貯水槽水道の適正な管理を促進します。	・新設、改造、撤去等の貯水槽情報が更新された場合は、上下水道局から保健所に情報提供を行います。 ・ホームページ・便利帳に継続して広報します。 ・新設貯水槽に貯水槽用ステッカーを貼付し、設置者を啓発します。 ・貯水槽水道設置者へ管理指導通知を送付します。	①264 ②264	0	0%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・貯水槽情報を市保健所に提供しました。 ・上下水道局ホームページ、便利帳に貯水槽の維持管理方法について掲載し、広報活動を実施しました。 ・新規貯水槽(9月末日現在34件)の検査時に、貯水槽に維持管理方法についてのステッカーの貼付を確認しました。	
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	1-3-1 貯水槽水道適正管理の促進 1-3-1 貯水槽水道適正管理の促進								
			1-3-2 水道管洗浄 の促進	上水道維持課	お客様がいつでも安心して水道を利用できるように、水道事業者や水道施設の設置者と連携を図りながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。	水道管の多くは鑄鉄管またはダクタイル鑄鉄管であり、管内面に防錆処理をしていますが、鉄錆の発生等により濁り水が発生する恐れがあります。そのため、水道管内の洗浄作業を実施することにより、管内状態を改善し、安全・安心な水道水を提供します。	・配水管洗管計画に基づき、効率的に洗管作業を行います。 ・水質劣化の起こりやすい配水管末端地区や、お客様ニーズの高い地区において定期的に排水作業を行います。	①28,435 ②28,435	5,353	19%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・業務委託は発注済であり、洗管作業も予定通り進めています。 ・水質劣化の起こりやすい配水管末端地区は定期的に排水作業を行っています。	
水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	1-3-2 水道管洗浄の促進 1-3-2 水道管洗浄の促進											
			1-3-3 直結給水の 普及促進	上水道維持課	お客様がいつでも安心して水道を利用できるように、水道事業者や水道施設の設置者と連携を図りながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。	貯水槽の設置場所や定期的な清掃・点検が不要になり、常に新鮮かつ安全・安心な水道水を直接供給する「直結給水」の普及を図るため、マンション等の高層建物における「直結増圧式給水方式」への切替を促進します。	・直結増圧式給水方式設計施行基準に基づき、設置者と協議を行い、適切に事業を実施します。 ・直結増圧式給水方式の普及を図るため、ホームページ等により広報活動を行います。	①0 ②0	0	—	B 予 定 ど お り の 進 捗	直結増圧式給水方式施行基準に基づき、設置者と協議を行い、許可業務を実施しました。事前協議許可件数48件(9月末現在)	
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	1-3-3 直結給水の普及促進 1-3-3 直結給水の普及促進								

令和3年度水道事業評価（中間）一覧表

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	上半期 執行額 (千円)	上半期 執行率	事業 進捗度	進捗状況
強 靱	2 安 定 ・ 快 適 な 水 道 水 の 供 給	2-1 水 道 施 設 の 更 新	2-1-1 浄配水場施 設の更新	浄水課	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。	施設更新基本計画に基づき、浄配水場施設の更新工事を実施します。更新にあたっては、将来の水需要に応じた施設規模の適正化を図ります。	・上青木浄水場は、工事2件を実施します。 ・新郷浄水場は、工事3件を実施します。 ・神根浄水場は、工事2件委託1件を実施します。 ・横曽根浄水場は、工事2件を実施します。 ・石神配水場は、工事1件委託2件を実施します。 ・鳩ヶ谷浄水場は、委託1件実施します。	①869,224 ②1,074,541	712,227	66%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・上青木浄水場は、工事1件発注に向け設計書・図面等作成中です。工事1件契約事務手続中です。 ・新郷浄水場は、工事3件昨年度から引き続き工事を行っています。 ・神根浄水場は、工事1件昨年度から引き続き工事を行い、工事1件契約事務手続中です。委託1件契約締結し、現場調査等を行いました。 ・横曽根浄水場は、工事1件は安全に工期内に完了しました。工事1件昨年度から引き続き工事を行っています。 ・石神配水場は、工事1件建築課依頼工事で現場調査等を行い、委託2件契約を締結し、現場調査等を行いました。 ・鳩ヶ谷浄水場は、委託1件契約事務手続中です。
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	2-1-1 浄配水場施設の更新 2-1-1 浄配水場施設の更新							
		2-1-2 老朽化管路 の計画的更 新	上水道建設課	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。	強靱性の低い高級鋳鉄管等や法定耐用年数を超えるダクタイル鋳鉄管等の老朽管を、施設更新基本計画および老朽度診断結果等に基づき耐震管へ更新します。	・管路更新計画に基づき、高級鋳鉄管0.66kmを更新します。 ・管路更新計画に基づき、経年管11.93kmを更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・請負残額等による予算残額を適切に管理・把握し、効果的かつ効率的に活用するよう検討します。 ・老朽管を更新するための配水管布設設計業務を行います（JR横断1箇所）。	①3,118,236 ②3,118,236	2,754,852	88%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・管路更新計画に基づき、高級鋳鉄管0.74kmを更新しています。 ・管路更新計画に基づき、経年管12.10kmを更新しています。	
水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	2-1-2 老朽化管路の計画的更新 2-1-2 老朽化管路の計画的更新										
2-2 配水管網 の強化	2-2-1 配水管の ネットワーク 化の推進	上水道建設課	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。	市内全域を網羅している配水管網を、拠点浄配水場を軸とした5つのエリアに基幹ブロック(大ブロック)化し、水圧や流量などの快適性の向上を図ります。また、非常時には、断水範囲を最小限に食い止めるとともに、被害区域内を集中的に補修し、早期に復旧するためのネットワークを構築します。	・配水ブロック化事業実施計画に基づき、石神ブロックのブロック化に必要な仕切弁の設置及び、それに伴う配水管2.00km(継続事業275mを除く)を整備します。 ・石神・新郷ブロック間、石神・神根ブロック間のバルブ閉止に伴い、濁りのリスクがある箇所について事前に洗管作業を行います。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。	①976,181 ②976,181	493,559	51%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・配水ブロック化事業実施計画に基づき、石神ブロックのブロック化に必要な仕切弁や排水設備の設置及びそれに伴う配水管を1.99km整備しています。 ・石神・新郷ブロック間のバルブ閉止に伴い、濁りのリスクがある箇所について事前に洗管作業を行っています。		
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	2-2-1 配水管のネットワーク化の推進 2-2-1 配水管のネットワーク化の推進							

令和3年度水道事業評価（中間）一覧表

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	上半期 執行額 (千円)	上半期 執行率	事業 進捗度	進捗状況	
強 靱	2 安 定 ・ 快 適 な 水 道 水 の 供 給	2-2 配 水 管 網 の 強 化	2-2-2 効 率 的 な 管 路 の 拡 張 ・ 充 実	上水道建設課	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。	安全・安心な水道水を安定して供給するため、管網未整備路線等に配水管を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な路線4.86kmを耐震管により整備します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・区画整理事業施行者や他の事業者と工事が競合する場合などは、工事時期や施工方法等の調整を図り、効率的に工事を実施します。 	①633,647 ②633,647	536,061	85%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な路線4.27kmを耐震管により整備しています。	
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	2-2-2 効率的な管路の拡張・充実 2-2-2 効率的な管路の拡張・充実								
			2-3 維 持 管 理 の 充 実	2-3-1 浄 配 水 場 の 適 切 な 維 持 管 理	浄水課	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。	浄配水場設備の適切な維持管理を図るとともに、配水量の変化に応じた適切な運転管理を継続します。	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した運用を行うため、定期的な設備点検を実施します。 ・不測の機器故障に対しても、迅速に対応し、被害を最小限にします。 ・設備の更新工事時も安定した水道水を供給するため、適切な運転管理を行います。 	①251,680 ②251,680	204,204	81%	B 予 定 ど お り の 進 捗	<ul style="list-style-type: none"> ・設備点検を行い、正常に動作することの確認をしました。 ・機器の故障に対して、原因調査し修繕を行っている。 ・市内への配水に影響が出ないように、適切な運転管理に努めています。
水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	2-3-1 浄配水場の適切な維持管理 2-3-1 浄配水場の適切な維持管理											
		2-3-2 管 網 の 適 切 な 維 持 管 理	上水道維持課	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。	<ul style="list-style-type: none"> ・管網の適切な維持管理を図るため、マッピングシステムを活用し漏水調査を行い、漏水修理などを実施します。 ・水道事故や漏水の早期復旧に対応するため、給水台帳を整備します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給水台帳、竣工図、道路台帳などの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的にを行います。 ・より効果的な維持管理ができるようシステム改造を含め、マッピングシステムのあり方について検討します。 ・マッピングシステムについて作成されたマニュアルに関し、利用する担当者の意見を反映して、更なる操作性の向上を図ります。 	①77,605 ②77,605	36,342	47%	B 予 定 ど お り の 進 捗	<ul style="list-style-type: none"> ・給水台帳、竣工図、道路台帳などの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的にを行いました。 ・マッピングシステムのデータ精度向上のため、過年度の竣工図等を点検しデータの検証・修正を継続的に行いました。 ・水理解析データを用いたデータ精度向上の検証のため水量や水圧のデータを更新しました。 		
		水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	2-3-2 管網の適切な維持管理 2-3-2 管網の適切な維持管理									

令和3年度水道事業評価（中間）一覧表

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	上半期 執行額 (千円)	上半期 執行率	事業 進捗度	進捗状況	
強 靱	2 安 定 ・ 快 適 な 水 道 水 の 供 給	2-4 漏 水 対 策 の 強 化	2-4-1 漏 水 調 査 ・ 漏 水 対 応	上水道維持課	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。	漏水の早期発見・早期修理により、漏水率の低減を目指します。	・1次側漏水修理はお客様からの通報から漏水修理完了までの時間を短縮します。 ・漏水多発地区の漏水調査と緊急漏水調査委託を実施し、早期発見・早期修繕を実施します。 ・前年度より漏水率の低減を目指します。 (目標漏水率 6.2%)	①844,216 ②844,216	193,315	23%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・漏水修理完了までの時間を集計・検証し、修理時間の短縮に努めています。 ・緊急漏水調査委託では340件(9月末)の漏水を発見し、漏水多発地区(芝・青木・戸塚・鳩ヶ谷)に調査委託を発注し作業を進めています。	
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	2-4-1 漏水調査・漏水対応 2-4-1 漏水調査・漏水対応								
			2-4-2 老 朽 給 水 管 布 設 替 の 推 進	上水道維持課	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。	漏水発生頻度が高い私道内の老朽給水管の布設替えを行うとともに、配水管の布設替工事等に併せて、給水管をステンレス鋼管等に切替えるなど、漏水率の低減を図ります。	・「老朽給水管布設替計画」に基づき私道74路線の老朽給水管の布設替えをします。 ・漏水発生件数の実績に基づき令和4年度以降の「老朽給水管布設替計画」を更新します。 ・配水管新設・布設替に伴い、給水管切替箇所給水管をステンレス鋼管に布設替することにより、出水不良の解消や漏水防止を図ります。 ・宅地内メーターまでのステンレス鋼管での切替率が前年度より上回り、宅地内の漏水防止を推進します。 ・橋梁添架配水管の維持修繕を施します。	①950,854 ②950,854	279,688	29%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・「老朽給水管布設替計画」に基づき委託を発注した。令和4年度以降の計画を更新しました。 ・配水管新設・布設替に伴う給水管切替は989箇所(9月末)宅地内ステンレス管切替箇所180箇所(9月末)行いました。 ・橋梁添架配水管塗装工事の発注準備を行いました。	
水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	2-4-2 老朽給水管布設替の推進 2-4-2 老朽給水管布設替の推進											
		2-4-3 私 道 内 給 水 管 布 設 替 整 備 補 助 の 促 進	上水道維持課	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。	補助金を交付することにより私道内の給水管布設替整備工事を促進し、給水管の老朽化に伴う出水不良および漏水多発等の解消に努め、給水の安定と漏水率の低減を図ります。	・お客様の申請に基づき19路線の老朽管をステンレス鋼管に布設替えることにより、出水不良や漏水を解消し、給水管網の整備促進を図ります。 ・引き続き、申請予定件数の把握に努め、補助金の予算執行を適正に実施します。	①30,000 ②30,000	409	1%	B 予 定 ど お り の 進 捗	補助金申請に係る相談件数は4月より6路線、申請は1路線受理し工事完了後補助金を交付しております。進捗状況は布設替延長が13.3m、補助金交付額が40万9千円、進捗率2.7%です。補助金の利用促進を目指して、5月に本庁舎、支所等市内9カ所にチラシを設置、また8月発行のみすぐるまにも記事をのせ広報を行っております。		
		水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	2-4-3 私道内給水管布設替整備補助の促進 2-4-3 私道内給水管布設替整備補助の促進									

令和3年度水道事業評価（中間）一覧表

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	上半期 執行額 (千円)	上半期 執行率	事業 進捗度	進捗状況	
強 靱	3 災 害 対 策 の 推 進	3-1 震 災 対 策 の 強 化	3-1-1 水 道 施 設 の 耐 震 化	上水道建設課	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。	地震等の災害発生時においても市民の救護活動等に支障をきたすことのないよう、浄配水場から重要給水施設(災害拠点病院および救急告示医療機関)への配水ルートを優先的に耐震化します。	・災害発生時においても市民の救護等に支障をきたすことがないよう、救急告示医療機関への配水ルートを耐震管により0.83km更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。	①260,553 ②260,553	260,553	100%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・災害発生時においても市民の救護等に支障とならないよう、救急告示医療機関への配水ルートを耐震管により0.84km更新しています。	
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	3-1-1 水道施設の耐震化 3-1-1 水道施設の耐震化								
			3-1-2 応 急 給 水 ・ 復 旧 体 制 の 整 備	上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。	災害時や非常時の応急給水・復旧体制を整備し、情報収集機能の強化、関係団体等との連携強化など、社会基盤の一翼を担う水道事業者として対応策の強化を図ります。	・上下水道局災害対策訓練等から得られた知見を活かして、マニュアルの更新を行います。 ・日本水道協会や水道災害相互応援四市連絡協議会については、該当事業体や関連団体と継続的な情報交換を行います。 ・継続的な局内全体の応急給水復旧体制の基礎を整え維持するよう働きかけます。	①176 ②176	6	3%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・水道災害相互応援四市連絡協議会については、該当事業体との応援体制表を更新しました。	
水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	3-1-2 応急給水・復旧体制の整備 3-1-2 応急給水・復旧体制の整備											
		3-1-3 災 害 用 資 機 材 の 整 備	上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。	災害時に効率的かつ効果的な応急給水、災害復旧作業が行えるよう資機材等の整備を進めます。	・事業3-1-2「応急給水・復旧体制の整備」と併せ、より効果的な災害用資機材等の研究を行い、局内での情報共有を行います。 ・各浄配水場の災害用資機材を点検し、災害用資機材管理台帳の更新を行います。また、発電機の保守点検及びリフターの保守点検を行います。 ・指定給水所への配水、備蓄ボトル水を補うものとして、家庭での水備蓄の啓発を行います。 ・給水袋3,000枚の備蓄を行います。 ・ボトル水を製造し、各指定給水所等に配備を行います。	①30,575 ②30,575	10,692	35%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・給水袋購入のための各社製品の情報収集を行いました。 ・ボトル水の製造を行い、効率的な配備が行えるよう計画を策定中です。		
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	3-1-3 災害用資機材の整備 3-1-3 災害用資機材の整備								

令和3年度水道事業評価（中間）一覧表

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	上半期 執行額 (千円)	上半期 執行率	事業 進捗度	進捗状況	
強 靱	3 災 害 対 策 の 推 進	3-2 危 機 管 理 体 制 の 確 立	3-2-1 テ ロ 対 策 の 強 化	上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。	・水道施設に毒物投入などのテロ攻撃を受けると、市民生活や経済活動を脅かす事態となることから、テロ行為抑止のため、水道施設の警備強化および水質監視体制の強化を図ります。 ・緊急時の飲料水の供給体制、関係団体等との連携などの対策強化を図ります。	・浄配水場の機械警備や進入防止策を維持し、調査研究を行い警備体制の強化を図ります。 ・応急給水訓練を実施します。 ・関係団体との連携強化を図ります。 ・職員にテロ防止意識の啓発を行います。	①20,492 ②20,492	20,492	100%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・書面会議等を通じ、日本水道協会等の関係団体との連携強化を図りました。	
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック クリック	3-2-1 テロ対策の強化 3-2-1 テロ対策の強化								
			3-2-2 渴 水 対 策 の 強 化	上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。	水源となるダム貯水量等の情報収集を行い、渴水時においても、安定した水道水の供給に努めます。	・渴水状況に応じ、渴水対策マニュアルに沿って、非常時体制へ速やかに移行します。 ・渴水対策マニュアルを適宜更新します。 ・水源情報、水源地積雪状況及び気象庁長期予報等を収集し、情報提供を行います。	①0 ②0	0	—	B 予 定 ど お り の 進 捗	・ダム貯水量等の情報収集を行い、渴水状況の注視に努めました。 ・水源情報、水源地積雪状況および気象庁長期予報情報を収集し、必要に応じ局内への周知を行いました。	
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック クリック	3-2-2 渴水対策の強化 3-2-2 渴水対策の強化								
			3-2-3 水 道 事 故 対 策 の 強 化	上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。	配水管の布設工事等において、不測の事故が起こらないよう防止策を講じます。また、事故発生時には、迅速な対応に努めます。	・令和2年度分の水道事故報告について、その原因を調査し、マニュアル制定も含めて、対応策を研究します。 ・水道事故発生時には、迅速に対応し、被害を最小限に留めます。	①0 ②0	0	—	B 予 定 ど お り の 進 捗	・令和2年度に発生した管路事故の情報を収集中です。	
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック クリック	3-2-3 水道事故対策の強化 3-2-3 水道事故対策の強化								
			3-2-4 災 害 対 応 の 強 化	上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。	市民生活や経済活動に不可欠な重要なライフラインを担う水道事業体として、あらゆる脅威や非常時に対応するため、体制整備を図ります。	・新型コロナウイルスのほかノロウイルス等感染症に関する情報を収集し、組織内において共有します。 ・感染症予防講習会を実施します。 ・定期的に放射性物質に関する水質検査を実施し、埼玉県との検査結果とともにホームページに掲載します。 ・各浄配水場の自家発電設備の点検を行うとともに、燃料の確保をします。 ・通信機能停止を想定した運転訓練を行うとともに、緊急時対応マニュアルを適宜更新します。	①549 ②549	106	19%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・新型コロナウイルス感染症に関する情報を収集し、組織内に周知し、感染予防対策を実施しました。 ・新型コロナウイルス等対策マニュアルに基づき、優先業務の選定を行い、業務の優先リストを作成しました。 ・非常用自家発電設備の試運転を月2回行いました。試運転後に燃料の残量を確認し、必要な量を確保しました。	
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック クリック	3-2-4 災害対応の強化 3-2-4 災害対応の強化								

令和3年度水道事業評価（中間）一覧表

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	上半期 執行額 (千円)	上半期 執行率	事業 進捗度	進捗状況		
持続	4 サ ー ビ ス の 向 上	4-1 お 客 様 サ ー ビ ス の 向 上	4-1-1 お 客 様 セ ン タ ー の 利 便 性 の 向 上	料金課	信頼される水道サービスであるために、お客様に正確・迅速・丁寧に対応するとともに、お客様ニーズの把握によりサービスを充実し、積極的な情報提供により相互理解を深め、お客様の満足度を高めます。	上下水道局お客様センターの利便性の向上を図るため、継続的に機能の検証を行います。また、窓口でのご意見やご要望などのお客様の声を業務に反映させ改善に努めます。	・インターネットを利用した使用開始・中止等の届け出方法の検証を行います。 ・意見・要望等簡易データベースを運用していきます。 ・外国人に対する窓口対応能力の向上を図ります。 ・検針・収納等委託業務が円滑に稼働しているか検証します。	①662,498 ②662,498	325,259	49%	A 予 定 以 上 の 進 捗	・インターネットを利用した使用開始・中止等の届出件数は、令和3年4月から9月末時点で3,426件であり、昨年度同期(834件)の4.11倍です。 ・意見・要望等及び委託業務の円滑な稼働については、委託業者から意見・要望を含む月次報告書の提出を求めるとともに、毎月連絡調整会議を開催し、事業の進捗状況を共有、把握、検証しています。 ・外国人に対する窓口対応については、地域特性に応じたサービスの調査、情報収集に努め、今年度からNTTと連携した通訳サービスの導入を予定しています。		
			水道事業評価シート	クリック→	4-1-1 お客様センターの利便性の向上									
			ローリングシート	クリック→	4-1-1 お客様センターの利便性の向上									
			4-1-2 サ ー ビ ス の 多 様 化	料金課	信頼される水道サービスであるために、お客様に正確・迅速・丁寧に対応するとともに、お客様ニーズの把握によりサービスを充実し、積極的な情報提供により相互理解を深め、お客様の満足度を高めます。	お客様の利便性を高めるため、多様化するお客様ニーズを把握し、サービスの充実に努めます。	・導入したクレジットカード決済、スマートフォン決済の収納比率を検証します。 ・口座振替割引制度導入後の収納額推移を検証します。 ・新たな支払いチャネルの導入に向けた調査・研究を進めます。 ・取扱金融機関の拡大について、調査・研究を進めます。	①57,360 ②57,360	19,557	34%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・クレジットカード決済、スマートフォン決済について、順調に利用者数が伸びており、今後もキャッシュレス決済を推進します。 ・新たな支払いチャネルとして、スマートフォン決済の取り扱いブランドのうち、令和3年4月1日よりPayPayを、6月1日からauPayを導入しました。		
水道事業評価シート	クリック→	4-1-2 サービスの多様化												
ローリングシート	クリック→	4-1-2 サービスの多様化												
			4-1-3 情 報 資 産 の 管 理 と 情 報 提 供 の 推 進	上下水道総務課	信頼される水道サービスであるために、お客様に正確・迅速・丁寧に対応するとともに、お客様ニーズの把握によりサービスを充実し、積極的な情報提供により相互理解を深め、お客様の満足度を高めます。	個人情報の管理を徹底し、漏えい防止のため万全の体制整備を図ります。また、川口市情報公開制度の厳格運用を継続するとともに、積極的かつ迅速に、わかりやすい情報発信に努めます。	・川口市個人情報保護条例、川口市情報セキュリティポリシーの厳格運用を継続します。 ・委託企業による個人情報保護に対する取組みについて検証を行います。 ・職員に対し情報セキュリティに係る研修を実施し、個人情報保護の徹底を図ります。 ・年次報告書は上下水道両事業の形式を整え作成し、公表します。	①37 ②51	51	100%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・川口市個人情報保護条例、川口市情報セキュリティポリシーの厳格運用を継続しました。 ・上下水道両事業の様式を統合した形式で年次報告書を作成し、公表しました。 ・上下水道局新任職員に情報セキュリティについて資料を配布し、個人情報の保護を徹底を図りました。		
水道事業評価シート	クリック→	4-1-3 情報資産の管理と情報提供の推進												
ローリングシート	クリック→	4-1-3 情報資産の管理と情報提供の推進												
			4-1-4 水 道 事 業 P R と お 客 様 の 声 の 反 映	上下水道総務課	信頼される水道サービスであるために、お客様に正確・迅速・丁寧に対応するとともに、お客様ニーズの把握によりサービスを充実し、積極的な情報提供により相互理解を深め、お客様の満足度を高めます。	・お客様の水道事業への理解を促進するため、ホームページ、広報誌、各種イベントにおけるPR活動等により、積極的な情報発信に努めます。 ・市民意識調査やアンケート等によりお客様の意見を収集し、お客様ニーズの的確な把握とお客様の意見を水道事業に反映させるため、広報・広聴体制を推進します。	・各種イベント参加により水道事業のPRを実施します。 ・ホームページにてアンケート調査を実施し、結果を事業に反映します。 ・ポスターコンクールを開催します。 ・広報誌を発行し、満足度の高い情報提供に資するよう工夫を凝らします。 ・見やすさと機能性・利便性を向上させたホームページの再構築を行います。	①12,901 ②12,956	10,055	78%	B 予 定 ど お り の 進 捗	・小学4年生及び5年生を対象に水道ポスターコンクールを実施し、8月にイオンモール川口、9月にアートギャラリー・アトリアにて展示会を開催しました。 ・8月1日に上下水道広報誌「みずぐるま」を発行し、低所得の子育て世帯の水道料金減免に関する記事のほか、水道事業の取組みに関する記事など各課の事業について掲載しました。 ・上下水道局ホームページの再構については、委託業者が決定し、デザインやコンテンツについて打合せを進めています。		
水道事業評価シート	クリック→	4-1-4 水道事業PRとお客様の声の反映												
ローリングシート	クリック→	4-1-4 水道事業PRとお客様の声の反映												

令和3年度水道事業評価（中間）一覧表

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	上半期 執行額 (千円)	上半期 執行率	事業 進捗度	進捗状況	
持続	5 社会・環境との調和	5-1 地域社会との協働	5-1-1 地域社会との連携強化	上下水道総務課	水道事業を通じて、社会との調和を実現するために、社会貢献活動に積極的に取り組めます。また、限りある自然環境を未来に残せるよう環境と調和した事業を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の水道事業への正しい理解を促進するため、浄水場や水道庁舎を活用し、「水道」について学習する環境を整えます。 ・「水」に関する市民団体の活動を紹介します。健全な水循環に寄与します。 ・地域住民と合同の災害訓練等を実施し、水道事業への理解と防災対策の促進を図るとともに、地域との連携強化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水の学習会について、水道施設のほか下水道施設も加え、見学内容を適宜見直し、実施します。 ・浄水場を活用した水道学習プログラムを実施し、内容の充実に努めます。 ・水道学習用パンフレットを施設見学者や市内小学校に配布します。 ・広報誌やホームページで水に関わる市民団体の活動を紹介します。 	①420 ②500	122	24%	B 予定どおりの進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道事業学習用パンフレットを市内小学4年生を対象に配布しました。 ・下水道局映像ソフト「みず太郎のウォーターアドベンチャー」についても、各学校へのチラシ配布、マスコミへの投げ込みなどにより周知・広報を行いました。 ・水に関わる市民団体の活動内容については、2月発行の上下水道広報誌「みずぐるま」への掲載に向け、紹介団体を精査しています。 	
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	5-1-1 地域社会との連携強化 5-1-1 地域社会との連携強化								
			5-2 資源の有効利用と環境負荷の軽減	5-2-1 資源・エネルギーの有効活用	財務課	水道事業を通じて、社会との調和を実現するために、社会貢献活動に積極的に取り組めます。また、限りある自然環境を未来に残せるよう環境と調和した事業を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・電力消費量削減のため、施設の更新時に高効率型設備や省エネルギー型設備を導入します。 ・これまで公用車へのハイブリッド自動車・電気自動車の導入により削減してきた燃料使用量を今後も維持します。 ・循環型社会構築のため、建設発生土などの再生資源を有効活用します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車の燃料使用上限量を、15,400L(H27～29年度平均)とします。 ・建設発生土などの再生資源を有効活用します。 	①2,080 ②2,080	1,048	50%	B 予定どおりの進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料使用量は、目標上限値に対し6,718L(43.62%)であり、予定範囲内の使用です(9月末時点)。 ・建設発生土などの再生資源を有効活用した。
水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	5-2-1 資源・エネルギーの有効活用 5-2-1 資源・エネルギーの有効活用											
6 経営基盤の強化	6-1 財政基盤の強化	6-1-1 水道料金の継続的検討	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・給水収益の減少や水道施設の老朽化など、厳しい経営環境の中でも、安全・安心な水道水を安定してお届けするために、適切な水道料金と料金体系を検討します。 ・大口需要者の動向を調査し、精度の高い水需要予測をすることで、適切な料金改定の時期、料金水準等を検証します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略の改訂と併せ、適切な料金水準について検証を行います。 ・類似団体及び県内事業者等、必要に応じて対象事業体を抽出し、水道料金の調査・分析を行います。 ・大口需要者の動向を調査し、水道料金に与える影響等を検証します。 	0 0	0	—	B 予定どおりの進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略の改訂に伴い、水需要予測及び給水収益(料金収入)の見直しについて検討しました。 ・調査対象事業体の水道料金に関する情報を収集するため、統計資料の収集を行いました。 ・大口利用者の動向は引き続き調査を継続します。 		
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	6-1-1 水道料金の継続的検討 6-1-1 水道料金の継続的検討								

令和3年度水道事業評価（中間）一覧表

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	上半期 執行額 (千円)	上半期 執行率	事業 進捗度	進捗状況
持続	6 経営基盤の強化	6-1 財政基盤の強化	6-1-2 収納率の向上	料金課	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。	財政基盤を強化するとともに、料金負担の公平性を確保するため、収納率の向上を図ります。	・収納率向上や債権管理の適正化のため、水道料金支払いにおけるキャッシュレス決済を推進します。 ・現年度収納率の維持及び過年度収納率の向上が図られているか検証します。	①99 ②99	0	0%	B 予定どおりの進捗	・口座振替促進のため、令和2年度から実施している口座振替割引を継続しているほか、支払いのキャッシュレス化に取り組んでいます。 ・現年度収納率は77.62%、過年度収納率は92.93%(8月末時点)であり、昨年度同期(現年度77.57%、過年度88.90%)と比較したところ、現年度分、過年度ともに向上しました。
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	6-1-2 収納率の向上 6-1-2 収納率の向上							
		6-1-3 資産・資金管理の効率化	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。	・持続可能な水道事業を実現するために、アセットマネジメントを活用した効率的な資産の管理運営に努めます。 ・将来にわたり健全な経営に資するため、安全性、流動性を確保した資金管理を行います。 ・中長期的な資金需要を把握し、事業規模に見合った企業債の借入れを行うことで、過度に借入金に依存することのない持続可能な財政運営に努めます。 ・庁内LANにより情報資産を効率的かつ適正に管理・運用するとともに、情報セキュリティマネジメントによりウイルス感染など様々なリスクにおける被害を最小限にとどめます。	・維持管理情報を更新蓄積し、データベースの精度を高めます。 ・収入の確保が見込まれる財源の範囲で支出予算を編成し、施設更新費用の抑制と平準化に努めます。 ・企業債の借入れは、事業推進に見合った適正な額で行います。	①29,453 ②29,453	29,417	100%	B 予定どおりの進捗	・令和2年度完了工事情報の更新に向けて、内容を整理中です。 ・来年度の給水収益の見込みを算定中であり、漏水防止の施策を促進するうえで必要となる財源の正確な把握と、それに基づく企業債の借入見込額について検討中です。 ・老朽管更新事業の財源である企業債の申請を予算と同額で行い、申請額同額を貸し付ける通知を受けました。	
6-2 組織能力の向上	6-2-1 適正な組織・職員配置	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。	事務事業や組織の見直し等により、人的資本を有効に機能させるとともに、「人材の育成」事業と併せ、組織全体の価値提供水準を向上させます。	・社会情勢が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和元年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。	①0 ②0	0	—	B 予定どおりの進捗	・次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行いました。 ・令和3年4月～7月までの職員の時間外勤務について、令和元年度の同時期と比較し、約3.4%減少していることを把握しました。		
		水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	6-2-1 適正な組織・職員配置 6-2-1 適正な組織・職員配置								
6-2-2 人材の育成	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。	重要なライフラインを担う水道事業体として、資格取得や外部研修への参加を奨励するとともに、職員間で知識や技術を共有することにより、各事業に関する専門的な知識等を有する職員を継続的に育成し、将来にわたって水道事業を維持、継続していくために必要な専門的知識および技術の継承を図ります。	・局研修計画を継続して実施し、研修への参加を促進します。 ・職務に必要な資格取得を奨励します。	①1,114 ②1,114	716	64%	B 予定どおりの進捗	・研修の参加を促進し、延べ14人(9月末時点)が7講座の外部研修に参加しました。 ・異動等により新たに水道事業に携わる職員に対し、水道事業職員研修を実施しました。			
		水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	6-2-2 人材の育成 6-2-2 人材の育成								

令和3年度水道事業評価（中間）一覧表

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	上半期 執行額 (千円)	上半期 執行率	事業 進捗度	進捗状況
持続	6 経営基盤の強化	6-3 経営体制の強化	6-3-1 中期経営計画の運用	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 経営基盤の強化を図るため、中期経営計画を策定し、各事業の進捗管理を行います。 中期経営計画に基づく財政とバランスのとれた施設整備を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業評価および中期経営計画のローリングを実施し、各事業の進捗管理を行います。 財政収支計画を検証するとともに、経営戦略の改訂を行います。 第2期中期経営計画の改訂を行います。 	①72 ②72	0	-	B 予定どおりの進捗	<ul style="list-style-type: none"> 将来の収支見込みを検証し、実績に則した財政収支計画を作成中です。 アクアプラン川口21(第2期中期経営計画及び経営戦略)の改訂作業を行っています。
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	6-3-1 中期経営計画の運用 6-3-1 中期経営計画の運用							
			6-3-2 広域連携の強化	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 水需要の減少、人材の確保などの課題に対し、他の水道事業者と連携し、管理の一体化や施設の共同化などの広域化施策を検討します。 水道事故などの危機対応のため、関係団体との連絡体制の構築、情報の共有化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 「埼玉県水道整備基本構想」に基づき、関係団体と検討部会を開催し、水道広域化について検討します。 利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会における連携を図ります。 公益社団法人日本水道協会における連携を図ります。 埼玉県営水道用水購入団体等連絡協議会における連携を図ります。 	①918 ②918	895	97%	B 予定どおりの進捗	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県水道広域化全体会議に出席し、埼玉県の広域化の取組や埼玉県水道ビジョン見直しについて情報共有をしました。 埼玉県営水道用水購入団体等連絡協議会においては埼玉県企業局と意見交換会(書面会議)を開催し、情報共有を行いました。 利根川・荒川水系連絡協議会は総会を書面で、幹事会をWEBで開催し、情報共有を行いました。
			水道事業評価シート ローリングシート	クリック→ クリック→	6-3-2 広域連携の強化 6-3-2 広域連携の強化							